

授業で使える当館所蔵地図

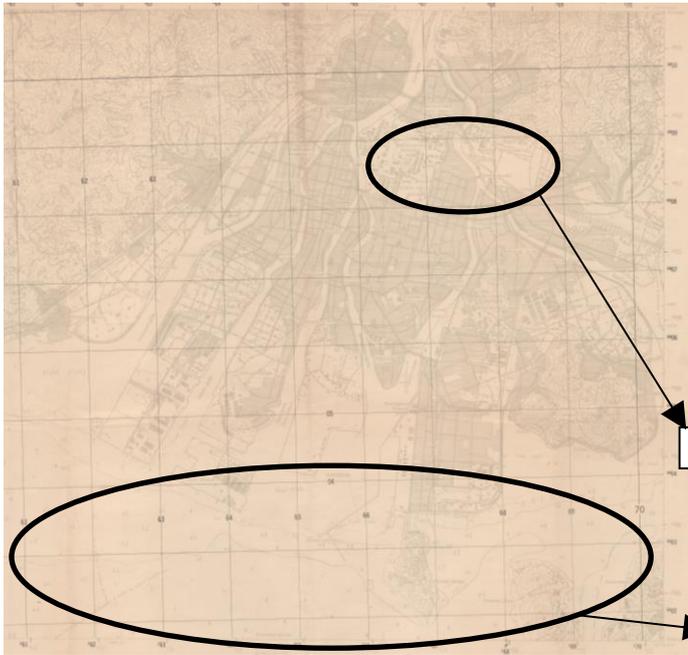
No. 60 地図1『AMS HIROSHIMA SE』、地図2『地図で見る広島の変遷Ⅱ』、地図3『地図で見る広島の変遷Ⅲ』、地図4『1：25000地形図 広島』

作成年：地図1：1952（昭和27）年、地図2：1925（大正14）年、地図3：1950（昭和25）年、地図4：2013（平成25）年

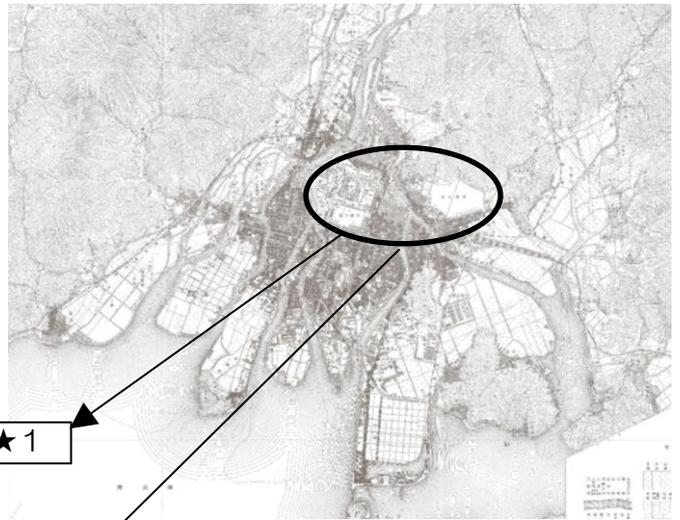
サイズ：地図1：37×46cm、地図2：52×75cm、地図3：76×105cm、
地図4：42×52cm

作者：地図1：旧米国陸軍地図局、地図2・3：日本地図センター、地図4：国土地理院

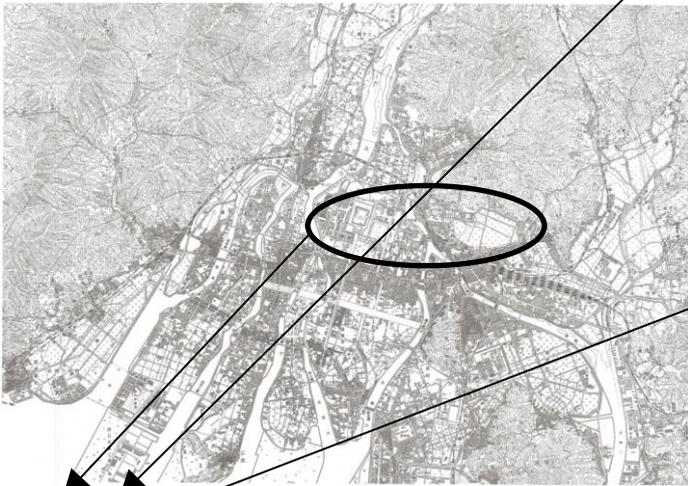
地図1『AMS HIROSHIMA SEの一部』



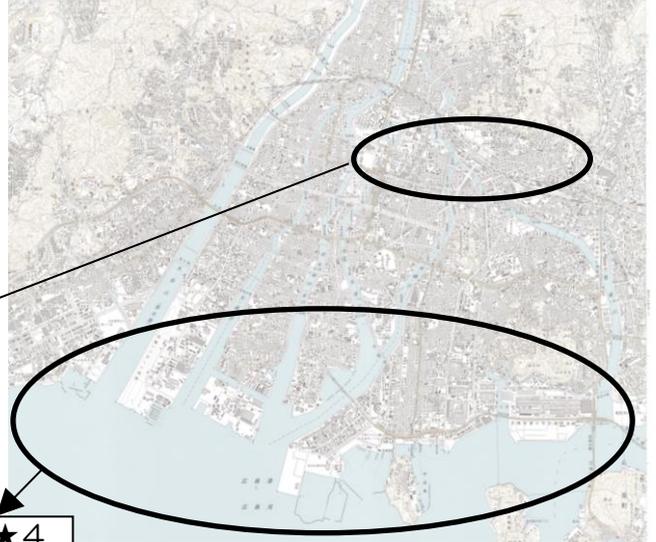
地図2『地図で見る広島の変遷Ⅱの一部』



地図3『地図で見る広島の変遷Ⅲの一部』



地図4『1：25,000地形図広島（広島10号-2）の一部』



【解説】

地図1は、AMS 地図と呼ばれる旧アメリカ陸軍地図局が作製したものである。地図2～4は、順に大正、昭和、平成の広島市を中心に描いた1：25000地形図である。これらの地図を通して、戦前の広島から、戦後復興した広島、そして現在の広島を比較することができる。そして、戦争について学習する際に、AMS 地図から、旧アメリカ軍がどのように広島を見ていたのかを考えることができる。

中学校社会科歴史的分野や総合的な学習の時間において広島について学習する時に、ぜひ使ってみようという地図である。

★1 軍都広島（大本営跡や様々な軍関連施設）

地図1に記載されている Headquarter Imperial Site とは大本営を意味する。広島には、日清戦争時に大本営が設置された。地図2を見ると、大本営跡地と記載されている。

また、地図1では、Army Barracks（練兵場）と記された場所を読み取ることができる。地図2からは、広島城の一郭は師団司令部、歩兵11旅団司令部他、陸軍の兵営等の施設で埋め尽くされ、その外側の市街地周辺には工兵作業所、工兵隊第5兵営、騎馬隊第5兵営、電信隊第2兵営、東練兵場、射撃場等の施設が見られる。

これらのことから、広島が軍都であったことが伺える。

★2 海図

当時の地図は、地形図を陸軍が作製し、※海図を海軍が作製することが多い。しかし、AMS 地図を見ると、水深などの海図の要素も記載されている。AMS 地図の大きな特徴の1つである。アメリカは陸軍と海軍が協力して作製していたことをうかがわせる。

※海図…船の航海のために、水深や海底地形を表現した地図

★3 西練兵場と東練兵場の跡地

地図2で、西練兵場や東練兵場のあった場所は、地図3では、地図記号から西練兵場には電波塔が建設されていることがわかる。また、東練兵場は水田にかわっていることがわかる。地図4からは、西練兵場跡地に広島市民球場がつくられ、現在、広島市民球場跡地になっていることがわかる。広島は、広島東洋カープの本拠地であり、かつて原爆による壊滅的な被害から復興を目指した広島市民がプロ野球球団を結成しようと立ち上がった場所である。また、東練兵場から水田にかわった場所には、放送局や旅行代理店などが建設されていることがわかる。国の建物が建てられていた場所に、現在は民間の建物が建てられるようになった。戦時体制が終わり、戦争からの復興や平和に向けての歩みが伺える事例である。

★4 三角州の変化

三角州に注目すると、海岸線がまっすぐになっている。ここには、船を着岸させる港や飛行機用滑走路もある。瀬戸内工業地域に位置する広島には、「マツダ」があり、完成した自動車を船に積み、海外へ運ぶ拠点にもなっている。

【用語について】

・AMS

旧アメリカ合衆国陸軍地図局（U.S Army Map Service）の略称である。同局は1940（昭和15）年から1960（昭和35）年前後にかけて、世界各国の地形図や都市図等を、戦略等も目的として収集・作製していた組織である。

【利用の例】

○アメリカから見た広島を知ることができる。

→歴史の学習において、「アメリカ合衆国は、なぜ広島に原子爆弾を落としたのか」を考えたときに、AMS 地図に日本の軍事関係地がたくさん記されていることから、当時のアメリカ軍はこのような地図を頼りにして、軍事作戦を考えていたかもしれないことが考えられる。

○戦後の広島の様子をアメリカが作製した AMS 地図と日本の地形図で比較することができる。

→地図1の AMS 地図（1952年）と地図3の日本の地形図（1950年）を比較したとき、アメリカから見た広島と日本から見た広島という視点で比較ができる。AMS 地図は、旧アメリカ合衆国陸軍地図局が作っていることから、地図に載っている情報は軍事に関わる情報が多いことがわかる。また、日本の地形図は、土地利用の様子が地図記号等を用いて記されており、地図によって用途が異なることがわかる。

○時代ごとの地図を比較することで広島の変遷を理解することができる。

→地図2～4は、順に大正、昭和、平成になっており、戦時体制の日本から復興、平和を願う日本への移り変わりが見受けられる。広島市は、1980（昭和55）年4月1日から、政令指定都市に制定され、地方の中核都市となっている。これらのことを、修学旅行の事前学習に位置付けることもできる。

【参考文献】

「地図で見る広島の変遷（解説）」 日本地図センター 2001（平成13）年発行